

様式第1号（第5条関係）

会議概要

会議の名称	令和5年度第2回久喜市総合教育会議
開催年月日	令和5年10月26日（木）
開始・終了時刻	午前9時30分から午前11時3分まで
開催場所	市長公室
議長氏名	梅田修一市長
出席委員（者）氏名	柿沼光夫教育長、諸橋美津子教育長職務代理者、 山中大吾教育委員、渋谷克美教育委員
欠席委員（者）氏名	小野田真弓教育委員
説明者の職氏名	スポーツ振興課長 飯塚 順一 指導主事兼教育部参事兼指導課長 飯野 純子
事務局職員職氏名	総合政策部長 関口 康好 教育部長 野原 隆 総合政策部参事兼企画政策課長 折原 誠 スポーツ振興課長 飯塚 順一 指導主事兼教育部参事兼指導課長 飯野 純子 企画政策課企画政策係長 小室 智仁 企画政策課企画政策係主事 鍋島 智明
会議次第	1 開会 2 市長あいさつ 3 教育長あいさつ 4 協議・調整事項 （1）スポーツの振興について （2）部活動の地域連携・移行について （3）その他 5 閉会
配布資料	会議次第 資料1 スポーツの振興について 資料2 部活動の地域連携・移行について
会議の公開又は非公開	公開
傍聴人数	0人

審 議 会 等 会 議 録

発 言 者 ・ 会 議 の て ん 末 ・ 概 要

○令和5年度第2回久喜市総合教育会議

1 開会

折原参事兼企
画政策課長

皆様、おはようございます。
定刻になりましたので、只今から、令和5年度第2回久喜市総合教育
会議を開会いたします。
なお、本日は小野田教育委員よりご連絡をいただき欠席となりますので、
ご報告いたします。
会議に先立ちまして、皆様いくつか、ご了解をいただきたいことが
ございますので、よろしくお願ひいたします。
まず、総合教育会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第
1条の4第6項の規定により、個人の秘密を保つため必要があるとき、
会議の構成が害されるおそれがあると認めるとき、その他公益上必要が
あると認めるときを除き、公開することとしておりますことから、本会
議も、原則公開としたいと存じます。
また、本日の会議の記録のため、録音につきまして、皆様のご了解を
お願ひしたいと存じます。
本会議の公開、傍聴、会議録の作成及び公表、会議録作成のための録
音につきましては、前回、ご確認をさせていただいておりますので、前
回と同様の取り扱いをさせていただきます。皆様のご了解をお願ひした
いと存じます。
また、前回に引き続き、今回の会議録についても、署名していただく
委員に原案をご確認いただくこととさせていただきます。
署名する構成員については、市長及び市長が指名する1名の構成員が
署名するものとして存じますので、市長から指名をお願いします。

梅田市長

今回の会議録の署名は「諸橋委員」をお願いします。

諸橋委員

はい。

折原参事兼企
画政策課長

ありがとうございます。
それでは、本日の会議録の署名は、梅田市長と諸橋委員にお願ひした
いと存じます。

2 市長あいさつ

折原参事兼企
画政策課長

次第に基づきまして進めさせていただきます。
初めに、梅田市長よりごあいさつをいただきたいと存じます。

梅田市長

皆さん、おはようございます。
本日は、令和5年度第2回久喜市総合教育会議を招集いたしましたと
ころ、柿沼教育長ならびに教育委員の皆様におかれましては、ご多用の
ところご出席賜り、誠にありがとうございます。
はじめに、去る10月17日に発生した久喜東小学校の校舎外壁の一部

梅田市長

が剥がれ落ちた事故についてお話させていただきます。

市内小中学校の外壁を緊急に改修する準備を進めている中で、あつてはならないことが起きてしまい、大変ご心配をおかけしているところでございます。

幸いにも人的被害はございませんでしたが、緊急的な児童の安全対策を講じたうえで、早急に修繕を実施してまいりますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

さて、本日の会議でございますが、令和5年度の第2回目の会議ということで、「スポーツの振興」、「部活動の地域連携・移行」の2点につきまして、ご協議をお願いしたいと考えております。

本市では、令和2年に「健幸・スポーツ都市」を宣言し、スポーツや運動等を通じて、誰もが心身ともに健康となり、笑顔あふれる躍動するまちを目指しております。

今年度は、スポーツによる持続的なまちづくりや地域活性化を担う組織として、県内3例目となる「スポーツコミッション」の設立に向けた準備や、総合運動公園の改修に向けた設計業務等を進めているところでございます。

また、3x3（スリーエックススリー）のプロチーム「埼玉ワイルドベアーズ」と連携協定を締結し、同チームが本年4月から久喜市に本拠地を移し、活動しております。イベントの実施など官民協働の取組みを通じて、スポーツ人口を拡大してまいりたいと考えております。

今後も教育委員会と緊密に連携を図りながら、スポーツをより一層推進していくため、「スポーツの振興」につきまして、意見交換いただきたいと存じます。

「部活動の地域連携・移行」につきましては、教員の働き方改革や持続可能な部活動の推進の観点から、国からは中学校の部活動を地域との連携や移行により実施していくガイドラインが示されております。

本市の中学校の部活動への加入率は90.6%と高く、部活動は大きな意義を持つ教育活動であると考えております。そのため、本市におきましても「部活動の地域連携・移行」につきまして、検討を進めていく必要がありますことから、ご協議をお願いしたいと存じます。

ぜひ、皆様から忌憚のないご意見を賜り、本会議が有意義なものとなりますことをお願い申し上げます。簡単ではございますが、開会に際しましてのごあいさつとさせていただきます。

折原参事兼企画政策課長

ありがとうございました。

3 教育長あいさつ

折原参事兼企画政策課長

続きまして、柿沼教育長よりご挨拶をいただきたいと存じます。

柿沼教育長

皆様、おはようございます。

先般、梅田市長から、令和5年度第2回久喜市総合教育会議開催のご案内をいただき、本日は教育委員3名と出席をさせていただきました。

梅田市長におかれましては、日頃より教育行政に対しまして、深いご理解とご支援をいただいておりますことに、改めて感謝申し上げます。

3年半に及んだ新型コロナウイルス感染症の惨禍からようやく抜け出

柿沼教育長

そうとしていたところですが、今学校では、インフルエンザが流行をしておりまして、引き続き感染症対策が必要な状況でございます。

本日の会議における協議・調整事項は「スポーツの振興」、そして「部活動の地域連携・移行」の2点であります。

中学校の部活動には文化芸術活動も含まれますけれども、入部している生徒の75%は運動部活動でございまして、スポーツ振興とも深く関わるものでございます。

その中学校部活動が今大きな曲がり角にあります。

その要因の1つは、少子化の進む中、部員数が減少し、これまでであった部活動が維持できなくなっていること、もう1つは、各中学校の教員数が減少しており、部活動の顧問を充てられなくなっていること、特に教員については、近年の学校の働き方改革で長時間にわたる指導ができなくなっております。

そもそも教員が部活動を指導することは、本来の業務ではなく、あくまで本人が自主的にやっているという状況でございます。

このようなことから、部活動を一部でも学校から切り離し、地域に移行していくことが義務となっておりますが、大変難しい問題で、どの市町村も手をこまねいているのが現状でございます。

本市では今年度、国や県の委託を受け、中学校部活動の地域連携・地域移行を進めていますが、このことも含め、皆様からご意見を賜ればと考えております。

中学校の部活動は、多くの市民にとりましては、本格的にスポーツに親しみ、中には生涯スポーツとなるきっかけとなるものでありますので、それは久喜市のスポーツ振興にも大きく関わるものと受けとめております。

また先程、市長のご挨拶にもありましたが、久喜東小学校の教室棟の外壁剥落事故につきましては、安全であるべき学校で起きたことであり、私からもお詫びを申し上げたいと思います。

市長部局の協力をいただいておりますので、早急に対応して参ります。

梅田市長には、常に学校のこと、子ども達のことを心にかけて市政を進めていただいておりますことに感謝を申し上げ、本日の総合教育会議が実り多いものとなりますことをご祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。

よろしく願いいたします。

折原参事兼企画政策課長

ありがとうございました。

それでは、次第4、協議・調整事項に入る前に、配布資料の確認をさせていただきます。

事前送付資料としまして、

(1) 令和5年度第2回久喜市総合教育会議 次第

(2) **資料1** スポーツの振興について

(3) **資料2** 部活動の地域連携・移行について

以上、次第を含めまして3点でございますが、お手元でございますでしょうか。

4 協議・調整事項（1）「スポーツの振興について」

折原参事兼企
画政策課長

それでは、次第4、協議・調整事項に入らせていただきます。
久喜市総合教育会議運営要綱第3条の規定によりまして、総合教育会議は、市長が招集し、その議長となると定めております。
このようなことから、梅田市長に議長をお願いいたします。
なお、議長として会議を進行していただきますが、併せて協議・調整にも加わっていただきたいと思っております。
それでは、梅田市長、よろしく申し上げます。

議長
(梅田市長)

ここからしばらくの間、議長として、協議・調整を行ってまいりたいと思っております。
皆さまにおかれましては、協議・調整が円滑に進行いたしますよう、特段のご協力をお願いいたします。
それでは、協議・調整事項の「（1）スポーツの振興」について進めてまいります。
内容につきまして、担当課から説明をお願いします。

飯塚スポーツ
振興課長

皆さん、おはようございます。
健康スポーツ部スポーツ振興課長の飯塚と申します。
私から「スポーツの振興」についてご説明をさせていただきます。
モニターの資料で説明をさせていただきますが、お手元にも資料があると思っておりますので、適宜ご確認いただければと思います。
久喜市は、令和2年3月に「健幸・スポーツ都市」を宣言いたしました。
これは市民の誰もが輝き、健やかで幸せな生活を送るため、一人一人がスポーツに親しむことやスポーツを通じて、世代を超えて人と人が繋がり、生き生きと暮らせるまちを目指すというものでございます。
この実現のためには、バランスのよい食習慣や規則正しい生活習慣の実践はもちろんのこと、市民の皆様がスポーツに親しむことのできる環境整備が肝要であると考えているところでございます。
この都市宣言を反映した第2期久喜市スポーツ推進計画を令和4年3月に策定したところでございまして、令和4年度から5年間で計画期間として進めているところでございます。
この計画を策定する際に、市民アンケートをとってございまして、各世代のスポーツ実施率を把握したところ、特に若年層の実施率が下がっているという特徴がございました。
このような状況から、様々な世代のターゲットごとに響くスポーツ施策が必要と考えておりますが、特に若年層をターゲットとした施策の展開を現在図っているところでございます。
次に、様々なターゲットを見据えた主な取組みを紹介させていただきますと存じます。
まずは、市最大のスポーツイベントである、久喜マラソン大会でございます。
今年度は、ハーフの部やファミリーの部など、小学生から高齢者までを対象に、5,200名を定員といたしまして、3月24日、日曜日に開催予定でございます。
ちょうど昨日から、市民優先枠の募集が開始されたところでござい

飯塚スポーツ
振興課長

す。
昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けまして、約 3,300 人弱のエントリーにとどまったところがございますが、様々な世代が参加できるスポーツイベントとして継続して開催しているところがございます。

また、現在フルマラソン大会の開催に向けて準備を進めておりますので、詳細が決まり次第、市民の皆様にお知らせしていく予定でございます。

次に、綱引き大会でございます。

今年は4年ぶりに綱引き大会を開催させていただきます。

最盛期は1,000人を超える小学生に参加していただきまして、大変盛り上がっていたイベントでございます。

今回は、久しぶりの大会ということで、参加者はまだ少ない状況ではございますが、今月末まで受け付けておりますので、ぜひ皆様からもご案内いただければと考えております。

また、昨年度から新たにスポーツ体験会を始めさせていただいております。

こちらは、お年寄りから子どもまで、手軽に楽しめる様々なスポーツを1ヶ所で体験できるイベントでございます。

資料に記載のポスターは、昨年度のものになります。今年度の日程は未定となっておりますが、こちらも大変盛況でございました。

また、スポレクフェスタについてご紹介させていただきます。

こちらは障がいを持つ方々にスポーツを体験していただくイベントとして、スポーツ推進委員協議会が開催しておりまして、こちらの運営を支援しているところでございます。

このように様々な方がスポーツに関わるきっかけを提供しているところでございます。

次は、また少し趣向を変えた取組みとしまして、「スポーツ×○○」のコラボのイベントを紹介させていただきます。

まず、くき健康ウォークでございますが、これまでは通常のウォーキングイベントとして、各地区の名所を巡るコースを設定いたしまして、毎年度実施して参りました。

今年度は、寺社仏閣や公共施設等にポイントを設定しまして、参加者がチーム単位で自由に回って、ポイントを稼ぐというゲーム性の高いイベントとしてリニューアルをいたしました。

10月15日の開催ということで、久喜市民まつりとコラボして相乗効果を狙い企画したのですが、あいにくの天候で中止となってしまいました。このイベントは、コースに立つ役員が不要でございまして、運営側にとりましても、大変メリットがあると考えております。

また、デジタルスポーツ体験についてでございますが、アリオ鷺宮の中に、エアデジタルというデジタルスポーツクラブがございまして、昨年度、こちらとスポーツの振興に関する連携協定を締結したところがございます。

この連携協定の内容として、デジタルスポーツマシンを活用したフレイル予防プログラムの共同開発を項目の1つとして掲げておりまして、エアデジタルの出資企業である、大手ゼネコンの安藤ハザマとともに協働で事業を進めているところです。

なお、このような取組みを含め、地域内企業と連携した取組みが評価されまして、スポーツ庁から「スポーツ健康まちづくり優良自治体表

彰」を県内で初めて受賞したところでございます。

このように、スポーツだけではなく、「スポーツ×○○」の取組みによる新たな価値を付与することで、市民の皆様にはスポーツに触れるきっかけを提供しているところでございます。

次に、今後のスポーツ施策についてご紹介をさせていただきます。

先程まで紹介させていただいた取組みに加えまして、第2期久喜市スポーツ推進計画にも掲げられております、スポーツを「する」だけではなく、「見る」「支える」「つくる」「育む」といった、市民の皆様には多様なスポーツへの関わり方を提供していくことを基本的な考え方に据えて、取組みを推進しているところでございます。

具体的な取組みの例でございますが、バスケットボール3x3を核とした取組みを紹介させていただきます。

こちらは、令和4年度から始めた取組みでございます。

ご承知の通り、市内にある久喜高校が、バスケットボール3x3の強豪校でございまして、これまで全国大会で2回優勝しております。

そのような中、久喜高校のバスケットボール部は、これまで子ども食堂の運営や、久喜提燈祭りの後の美化活動等、地域の貢献活動にも力を入れて取り組んでいた経緯がございまして、これらの関係者の皆様から、久喜高校を応援する活動ができないかということで相談をいただいたところでございます。

これを受けまして、もともとバスケットボール3x3については、ショッピングモールや駅前等、人目につく場所で開催するケースが多いこともございまして、市と包括連携協定を締結しているモラージュ菖蒲において、イベントを開催することを企画したところでございます。

実施にあたりましては、コートレンタル等に多額の費用がかかることから、久喜高校を応援している皆さんが、自発的に実行委員会を組織し、協賛金を集めていただくなど、大変大きな熱量を持って支援していただいたところでございます。

これまでは、市民の皆様や団体の皆様につきましては、どちらかというと、行政が企画したイベントのお手伝いをお願いしてきたというケースが多かったところでございますが、このイベントは関係者の皆さんの思いが形になったという意味で、これまでとは全く違ったプロセスで実現したイベントということになります。

この取組みの中で、行政は、実行委員会や市内の高校、企業、プロチームとのパイプ役としての役割を担い、市が負担した費用は数万円で済むなど、最小限のリソースで大きな効果をあげることができたと考えております。

今年度からは、この取組みをさらに発展させるため、高校生だけではなく、小・中学生の大会も開催いたしました。

この大会の中で、プロ選手からの指導や、プロ同士のエキシビジョンマッチを併せて行うなど、小学生からプロまでがコミュニケーションを取り合うことのできる機会を創出しているところでございます。

また、このイベントの特徴は、大会の実施だけではなく、選手の育成や、会場周辺のごみ拾い等も併せて実施することで、スポーツ推進計画の理念である、スポーツを「する」「見る」「支える」「育む」等を一体的に実現しているところでございます。

このような取組みが評価されまして、2年連続でスポーツ庁の「スポーツ健康まちづくり優良自治体表彰」を受賞したところでございます。

実はその表彰につきまして、昨日、スポーツ庁から正式に発表された

飯塚スポーツ
振興課長

ところでございまして、来月の11月10日に市長が室伏長官から表彰を受ける予定でございます。

この2年連続の受賞は、全国でも珍しく、県内では初めてということになります。

続きまして、施設整備の関係でございます。

本市では総合運動公園の改修を進めており、現在、実施設計を進めているところでございます。

その中で、バスケットボール3x3のコートを整備する計画がございます。

先程のバスケットボール3x3の取組みに加えまして、こうした施設が充実することで、さらなる発展が可能になると考えております。

今年度から久喜市を本拠地として活動を始めた埼玉ワイルドベアーズと、様々なスポーツイベントでコラボさせていただいておりますが、来年度から、バスケットボール3x3のプロリーグ戦を誘致するための調整をしているところでございます。

また、同時に整備を進める予定のスケートボードパークにつきましても、全国的にも有数の規模となる予定でありますことから、新たな施設整備に併せまして、大規模な大会の誘致による交流人口の増加や、知名度の向上等、スポーツによる地域活性化を図っていく計画でございます。

続きまして、企業と連携した取組みを紹介させていただきます。

先程のバスケットボール3x3のイベントも企業と連携した取組みでございましたが、それ以外にも多くの企業と連携した取組みを行っているところでございます。

マラソン大会の継続業務をお願いしております、アールビーズという企業がございまして、ジョギングとごみ拾いをかけ合わせた新たなスポーツ、プロギングを市内で開催していただきました。

このスポーツは、昨年度の久喜マラソン大会の開催前にも、総合運動公園周辺におきまして、森永製菓さんと共同で実施しておりまして、参加者からも大変好評でございました。

また、西武ライオンズにつきましても、市内の小学校で野球教室を開催していただいております。

令和4年度は、10回、延べ約700人の児童がこちらの教室に参加しました。

また、明治安田生命につきましても、フレイルの予防講座や、スポーツイベント等に併せまして、血管年齢チェック等の健康増進に繋がるイベントをコラボしていただくなど、参加者からも大変好評を得ているところでございます。

スポーツ振興課において、毎年度実施しております体力テストを、今年度は明治安田生命さんにコラボしていただき、事前の周知も功を奏しまして、前年度の3倍以上の参加者が集まったというような状況でございまして、大変大きな相乗効果があったと考えているところでございます。

また、卓球のプロチームT.T彩たまさんが、昨年、リーグ戦のTリーグを久喜総合体育館にて開催したのですが、その開催前にコラボイベントということで、モラージュ菖蒲での卓球イベントや、市内の中学校の卓球部の方に、元プロの選手が指導していただくようなイベントも実施していただいたところでございます。

森永製菓さんにつきましても、先程紹介させていただいたバスケット

飯塚スポーツ
振興課長

ボール3x3のイベントにメインスポンサーとして関わっていただいている状況でございます。

また、エアデジタルにつきましては、先程紹介した通り、フレイル予防のプログラムの構築を共同で進めておりまして、市では広報や、プログラムの監修等に協力しているところでございます。

このように、様々な企業と連携した取組みを進めておりますが、メリットとしては、基本的に企業が自主的に動いていただいておりますので、財政的にも人的にも、市の負担が少なく取り組んでいる点が大きなところでございます。

また、多くの方に見ていただいたり、体験していただく内容でございますので、スポーツ実施率の向上や、「する」「見る」「支える」等の取組みに繋がっていると考えております。

また、こうした取組みについては、公式の動画チャンネルを立ち上げておりまして、動画配信を行っているところでございます。スポーツに関心のない層に向けた取組みとして動画を配信しております。

最近若者に人気のあるショート動画については、興味のない分野の動画もランダムに配信されるという特徴を生かしまして、積極的に配信しているところでございます。

まずは、T.T彩たまさんとモラージュ菖蒲にて開催した取組みをご覧ください。

(動画視聴)

トイザらスの前で実施しましたので、小さいお子さんがたくさん参加してくださいました。

こうした内容を動画で紹介しています。

また、教育委員会とのコラボ動画もあげておりまして、スポーツ応援献立として、給食センターにご協力いただきまして、スポーツに適した献立メニューの紹介をさせていただいております。

こちらの動画もご覧ください。

(動画視聴)

こちらはショート動画に特化しており縦型の動画を公式動画チャンネルで配信しております。令和4年度から始めておりまして47本の動画を現在アップしているところでございます。

最後になりますが、新たな取組みとして、スポーツコミッションの設立についてご紹介させていただきます。

スポーツコミッションとは、スポーツを通じたまちづくり、地域活性化を図ることを目的とした組織でございまして、現在全国で約200団体が活動している状況でございます。

県内では、さいたま市、熊谷市で設立されておりまして、県内3番目のスポーツコミッションの設立を目指して準備を進めているところでございます。

具体的には、交流人口の増加等、地域活性化に繋がるスポーツ大会の誘致やイベントの開催を、行政だけではなく、スポーツ団体、施設管理者、商工関係団体等と、官民連携で推進していくための組織でございます。

予定している取組みとしては、新たな整備を予定しております、バス

飯塚スポーツ
振興課長

ケットボール3x3、スケートボードパークを活用したプロリーグや大規模な大会の誘致による、交流人口の増加に加えまして、他のコミッションにはない特徴的な取組みとして、様々なスポーツ団体や総合型地域スポーツクラブと連携することで、部活動の地域移行を見据えた実効的な人材バンクの設置を目指しているところでございます。

スポーツコミッションに、一元的に人材や団体の情報が集まることで、様々なニーズを踏まえて、指導者とのマッチングができると考えているところでございます。

以上が、現在、スポーツ振興課で取り組んでおります主なスポーツ振興施策でございます。

議長
(梅田市長)

ただ今、担当課から「スポーツの振興」について説明がありました。内容が盛りだくさんでございましたが、山中さんいかがでしょうか。

山中委員

資料の作成ありがとうございます。

それでは私の方から質問させていただきますが、スポーツコミッション等を取り組んでいく上で、環境の充実として久喜市総合運動公園の改修に向けて進んでいると思いますが、現状で各種大会を実施すると、駐車場が足りない問題がかなり出ています。

例えば体育館でも、グラウンドでも同じ日に何か行われていると、どうしても駐車場の台数が足りないという状況です。

個人的に近くで施設を運営しているので、駐車場を貸してくださいや、無断駐車等、様々な状況が起きています。

そんな中、近隣の農地等を活用して駐車場を増設する予定などのお考えがあるのかお聞かせ願えればと思います。

飯塚スポーツ
振興課長

総合運動公園の駐車場につきましては、久喜マラソン大会の時は、なごみさんの駐車場等をお借りしているような状況でございます。

今回、総合運動公園の整備に併せまして、現在砂利になっている場所も全てアスファルトにしていく方針でございます。それによって線も引かれますので、効率的に停めることで、今までより多少改善するのではないかと考えているところでございます。

実は久喜マラソン大会のときには、江面小学校や久喜南中学校等、近隣の学校さんの敷地もお借りしております。

また、日本通運さんや、少し離れますが日本信号さん等、快く駐車場貸していただいている状況もございまして、新たに駐車場を増設するというのは、今のところ予定はないのですが、引き続き、大きいイベントが開催される際には、企業様等にご協力いただき、駐車場の確保もしながら進めていきたいと考えているところでございます。

山中委員

これからいろんな大会を誘致するということですが、各種大会を誘致するのであれば、ぜひしっかり駐車場を整備して管理していかないと、駐車場がないので来ませんよ、と言われる可能性もあると思います。

サッカーでいえば、芝のグラウンドでないと正式大会が開けない、野球場もいろんな制限が出てくると思うので、各種大会を誘致するのであればしっかりとハードの面も整えていかないといけないのではと思っております。近隣の農地については、農用地からの除外をしてあると思うので、そこまで期間はかからずに整備ができると思います。

また、グラウンドの反対側は、電線が通っていません。そのため、電

山中委員 気が来ていない状況で、電柱も通させないような制限ができていますので、その辺りも考慮しながら、ぜひとも近隣で駐車場の確保を検討していただければと思います。

議長 (梅田市長) 実際に現在のプールの駐車場が、今後使えなくなるわけですね。そのため、今の台数からそこまで増えないと思うので、周辺の余剰地に駐車場を拡大していくという流れになりますよね。実際にテニスコートも2面増えているので、試合が重なると駐車場は全く足りないのでは、どこのエリアに駐車場が確保できるのかというのは、十分に検討させていただきたいと思います。
渋谷さんはいかがですか。

渋谷委員 まず報告を伺いまして、大変素晴らしい内容であると感じました。特にスポーツ庁から2年連続で表彰を受けたという事で、久喜市にとっても名誉なことであると思います。

2点ほど伺いたいのですが、まず1点目として、現状と課題の中で、特に若年層のスポーツの実施率が低いという事で、こちらの層の取り込みを進めていくとのことですが、逆に60代や70代は、60%ほどの実施率となっております。60代や70代がどういったスポーツを行っているのかについて確認させていただきたいと思います。

2点目ですが、資料の最後のページにあるスポーツコミッションの中で、「部活動地域移行を見据えた人材バンク」とありますが、現在、教育委員会では実証事業が進んでいます。

現在、具体的な形で何か支援等されていることがあるのかお伺いしたいと思います。

飯塚スポーツ振興課長 まず1点目の、60代や70代のスポーツの現状ということでございます。

久喜市スポーツ推進計画を策定した際に実施した、市民アンケートの内容を見ますと、定年後の時間を活用して様々なスポーツに取り組んでいるというのが、現状であるところでございます。

手元に具体的な資料がないのですが、やはりウォーキング等が多いという状況でございます。

令和2年と5年前の平成27年のグラフですが、60代や70代は増えている一方で、逆に若年層は減っている点が、特徴的であると感じたところです。

それぞれ趣味や趣向があり、楽しんでいるというような状況であると認識しております。

2点目の人材バンクの現状でございます。

現在、スポーツコミッションを立ち上げるための設立準備委員会を立ち上げておまして、その中で、様々なご意見をいただいております。

やはり総合型クラブさん等、2団体ほどその会議の中に入っていておられますので、ご意見をいただく内容として、人材バンクについては、皆さん興味を示されている状況でございます。

そうした中で、最近実施した事例を1つご紹介させていただきます。

指導課長から、久喜南中学校のバスケットボール部の指導者がおらず非常に厳しい状況であるとお聞きしまして、どなたか指導できる方はいませんかということで、スポーツ振興課にご相談をいただいたところでございます。

飯塚スポーツ
振興課長

そういった中で、バスケットボール3x3の取組みを行っている関係で、指導者とスポーツ振興課が関わっている機会が多いことがございまして、栗橋で指導している指導者を実際にご紹介して、この間の日曜日、10月22日なのですが、当日、現地に行っていただいて、実際に引き受けていただけることになりました。

指導者を学校さんが独自で探すとなると、近所の方や卒業生等、どうしてもその地域に限定した人になってしまうと思います。やはり一元的にスポーツ振興課のほうに色々な情報が入っており、クラブさんとの関わりも多いので、そういった中でやはり人材バンクができれば、色々なマッチングができると思います。

熱意を持った方もたくさんいらっしゃいますので、人材バンクを進めていくことで、今までとは少し違った視点で、指導者をご紹介できると思っておりますし、部活動の地域連携や移行も進んでいくのではないかと実感を持っているところでございます。

渋谷委員

わかりました。ありがとうございます。

議長
(梅田市長)

諸橋さんはいかがですか。

諸橋教育長職
務代理者

すごく素晴らしい取組みだと思うのですが、スポーツコミッションの設立で、やはり人材バンクがすごく大きなポイントになると思います。

中学校の地域クラブに移行するにあたって、指導できる人材がいることで、進んでいくのではと思っています。

また、色々な大会の誘致もされていくとのことですが、久喜市にある施設が、市内外から選んでいただけるような、施設になっていくといいなと思っています。

先程の駐車場の話と関係すると思うのですが、この計画案を見ていくと観客席があまり確保されてないように見えます。予算的にも難しいことと思うのですが、誘致するとなると見られるような場所が盛り込まれてくると、また少しイメージが変わってくるのかなと思います。

飯塚スポーツ
振興課長

観客席の関係でございます。

まず、バスケットボール3x3についてですが、普段練習で使っているだけでスペースを確保する必要があると思っていますので、観客席を置いていないのですが、やはり利用者、特に埼玉ワイルドベアーズさん等からもご意見を伺っておりまして、普段というよりも、実際にイベントをする時に、周りに椅子を置くスペースを確保して欲しいと伺っております。

実際に駅前や、場所によってはショッピングモールの中等、できるだけ多くの人目に触れるというコンセプトで、このスポーツは行っておりますので、普段から観客席があるよりも、イベントの際に観客席を置くスペースを確保する形で、現在は計画しております。

またスケボーパークにつきましては、普段から観客席がありますと、例えば、初心者のエリアで観客席に飛び込んでしまうなどの問題もあると思われまして、今の段階では、階段状の仮設の観客席を設置できるようなスペースを確保して、大会の開催時には設置する方針で検討しているところでございます。

議長
(梅田市長)

陸上競技場のグラウンドも同じような方針だったでしょうか。

飯塚スポーツ
振興課長

陸上競技場につきましては、簡易な席が設置される予定です。

議長
(梅田市長)

サッカー場のグラウンドには、ピッチを見渡せるような観客席が設置されるというわけですね。

参考までにですが、先週もプロバスケットボールリーグのB3リーグで埼玉ブロンコスというチームが、毎日興業アリーナ久喜で2試合公式戦が行われました。対戦相手が福井のチームだったのですが、アウェイの方々も来てくださり、応援団が土曜日は1,200人以上、日曜日は1,500人以上も来場されました。

卓球のリーグ戦が開催された際には、沖縄から琉球チームが来てくださり、張本さんもいらっしゃった影響もあり、2,000人ほど来場されました。

やはり久喜のエリアは、高速道路から近いというのもありますし、スポーツの興行には、適したエリアではあるかと思います。

これからスポーツコミッションを通して、様々なイベントができるように取り組んでいきます。

教育長はいかがですか。

柿沼教育長

第2期久喜市スポーツ推進計画では、「いつでも・どこでも・だれでも」と、健幸・スポーツ都市としては、この実施率の向上はやはり大事だと思っています。

先程、お話がありましたように、60代や70代のスポーツ実施率が高い理由としては、ほとんどがウォーキングですよ。

やはり20代や30代の方も、例えば駅に、今まで車や自転車で行っていたのをウォークに変えてもらうなどは、ゼロカーボンシティとしても良いと思います。そのため、ぜひこれを進めていただきたいと思います。

実は埼玉県が実施しているコバトンマイレージが、大変人気だったのですが、来年3月末で終了するそうです。

これに代わるものを久喜として立ち上げて、一生懸命取り組んだ人には、景品としてお米や野菜を差し上げるのはどうかと思いました。

こういう取組みをやっていくと、スポーツ実施率も高まりますし、スポーツタウンとしても良い意味があるのかなと思います。

飯塚スポーツ
振興課長

スポーツの実施率がかなり落ち込んでおります世代に向けた取組みについては、今後検討して参りたいと思います。

議長
(梅田市長)

最後に私からですが、久喜市では様々なイベントやスポーツ大会等、開催しているのですが、やはり参加人数が少ないイベントもかなりあると思います。

そのため、スクラップアンドビルドではないですが、毎回同じ人が参加しており、そこまで広がらないと見込まれるものについては、思い切ってカットしたり、新しいものに切り換えていくことも必要ではないかと感じております。

スポレクフェスタも毎回、同じ人に参加いただいております。スタッフの人数の方が多い状況です。

議長
(梅田市長) スポーツ体験会も、スポーツの普及にどこまで貢献できるのかという
のも難しいところです。
やはり若い世代の方々が注目して、やりたくなるようなスポーツを仕
掛けていく必要があるのではと思いますし、ソフト面の切り換えを柔軟
に考えていただきたいと思います。
今まで継続してやってきたからというのではなく、今回の綱引きも何
人参加され、これからも継続していくべきなのかというのもよく検証し
たほうが良いと思います。
指導者がほとんどいなくなっておりますので、その辺りは少しフレキ
シブルに考えていく時期かなと思われました。

飯塚スポーツ
振興課長 ありがとうございます。
先程、くき健康ウォークでフォトロゲイニングにリニューアルしたと
ご紹介したのですが、昨年度まで実施していた、ポールウォーク体験と
ハイキングを、今年は集約いたしました。
特にポイントとなりますのが、何かのイベントとコラボするといふこ
とが一番いいのではと実感しております。来月マルシェとコラボした
イベントを予定していますので、たくさんの方が来ていただいた時に、
スポーツを見てもらう、興味を持ってもらうといったことが非常に重要
であると思っています。
そういった視点で、今後も進めていきたいと思っています。

議長
(梅田市長) 久喜マラソン大会は、ランナーのためだけの大会ではないので、でき
るだけ多くの市民の方が関わられるようなスキームづくりは、おそらくス
ポーツ振興課にかかっている部分だと思いますので、いかにこのスポー
ツの裾野を広げていくかというのは、多角的な観点で考えていただきた
いと思います。
他自治体の先行事例も取り入れていくべきでありますし、こちらにつ
いては大きな期待を持っておりますので、是非とも頑張ってください
と思います。

4 協議・調整事項(2) 「部活動の地域連携・移行について」

議長
(梅田市長) 続きまして、協議・調整事項の「(2)部活動の地域連携・移行につ
いて」でございます。
内容につきまして、担当課より説明をお願いします。

飯野指導主事
兼参事兼指導
課長 それでは指導課から、本市における「部活動の地域連携・移行」につ
いてご説明いたします。
本日説明する内容は、大きく4つでございます。

「国や県の動向」、「部活動の現状と課題」、本年度の取り組みであ
る「実証事業について」、「来年度以降に向けて」でございます。

まずは、「国や県の動向」について説明いたします。部活動は、体
力、技能の向上や心身の健全育成に大きく貢献してまいりました。

しかし、少子化や教員の働き方改革の推進等により、これまでの指導
体制を継続することが厳しくなっています。

こうした流れの中、令和4年の夏頃に取りまとめられた部活動の地域
移行に関する検討会議の提言を踏まえ、令和4年12月に学校部活動及

飯野指導主事
兼参事兼指導
課長

び新たな地域クラブ活動のあり方等に関する総合的なガイドラインが国から示されました。

本ガイドラインでは、部活動の地域移行について、地域の子どもたちは、学校を含めた地域で育てるという意識のもと、新たな地域クラブ活動を整備するために必要な対応について、国の考え方が示されたものとなっております。

また、令和5年度から令和7年度までの3年間を改革推進期間として、地域連携、地域移行に取り組みつつ、地域の実情に応じて、可能な限り早期の実現を目指すとしております。

資料の図は、部活動の地域連携、地域クラブ活動への移行の全体像のイメージとなっております。

現状は、学校部活動であり、学校教育の一環として位置付けられているものです。

これを休日の地域クラブ活動に移行していくものになっております。地域クラブ活動は、学校と連携して行う地域クラブ活動という位置付けになっており、学校の管理下外である社会教育、スポーツ、文化芸術の活動となっております。

多様な主体が実施し、学校は活動方針、活動状況や生徒に関する情報の共有等を通じて連携していきます。また、合同部活動や部活動指導員等の指導者を適切に配置し、活動機会を確保するものとなっております。

休日の地域クラブ活動は多様な主体が実施しております。①のように、自治体が各方面と連携して、地域クラブ活動を実施する方法や、②のように、総合型地域スポーツクラブや民間事業者等が地域クラブ活動を実施する方法が考えられます。また、③のように、部活動の地域連携として、部活動指導員等の指導者と連携を図ることもございます。

国のガイドラインを受け、埼玉県から地域クラブ活動の整備・充実に係る方針が示されました。

本方針では休日は地域クラブ活動に移行し、平日は部活動を継続するとしています。

体制移行期間として、令和5年度から令和7年度までをステージ1、活動環境整備期間とし、実証事業を行い、活動環境の整備を進め、令和8年度から令和10年度までをステージ2、活動環境定着期間とし、休日のクラブ活動を拡大し、定着を図ることとしています。

次に、「部活動の現状と課題」について説明いたします。

まずは市内中学校の部活動の一覧についてです。一部訂正をさせていただきます。鷲宮西中学校のソフトテニス为空欄になっておりますが、女子21人の参加がございました。資料に加筆をお願いします。

また、表の下段の最後の行が、文化部合計となっておりますが、全体の合計の間違いでございます。

学校の規模により、部活動の数が異なっておりますが、8から17種類の部活動があります。

一部の部活動では、部員数が減少しておりまして、市内外の中学校と合同チームを組んで、大会に出場しているケースがございました。

本市は、部活動加入率が90.6%と高く、多くの生徒が部活動に取り組んでいます。休日も活動することがございます。

本年度の1学期において、休日の部活動の指導を行った回数は平均1ヶ月当たり2.8回であり、多くの休日で部活動が行われております。

また、顧問は必ずしも担当する競技の経験があるわけではございませ

飯野指導主事
兼参事兼指導
課長

ん。部活動内容に係る未経験の部活動数は、運動部で約3割でございます。その他に、本市では既に部活動指導員を配置しており、現在、運動部6人、文化部3人が、市の会計年度任用職員でございます部活動指導員として、市内中学校の部活動指導に携わっていただいております。

資料でございますグラフは生徒数の推移予測です。本市においても、生徒数が減少し続ける予測となっており、部員数の減少等により、現状の部活動を維持していくことは、ますます厳しくなっていくことが見込まれます。

昨年度、市内の教職員にアンケートを実施いたしました。

休日の部活動が地域移行された場合、指導者として指導することを希望するかという質問には、「希望する」「条件により希望する」と回答した割合が約3分の1でした。

教職員が地域クラブ活動の指導者として指導するには、兼職兼業の手続きを経て行うこととなりますが、地域移行された場合の指導者の確保は大きな課題であると捉えております。

次に、本年度の取り組みである「実証事業」について説明いたします。

実証事業では、一部の部活動を地域クラブへ移行することにより、成果と課題を検証していくものです。令和5年度は、本市を含め、県内では6市とさいたま市が本事業に参加しております。実証事業では、県からの委託を受け、地域のクラブ化、スポーツ環境の整備、地域の指導者の確保、関係団体との連携強化等について、実証研究を行います。地域クラブ活動における成果と課題をまとめ、次年度以降の地域移行を更に推進していくものとなります。

県内の6市の進捗状況でございますが、多くの自治体が、本年度10月、又は11月に実証事業を開始する予定となっております。

本市については、アンケートで提出したものと異なり、9月の時点で、指導者10名となっておりますが、9名を委嘱させていただき、5校5部活を地域クラブ活動へ移行し、取り組みを始めました。

その後、先日の10月定例教育委員会におきまして、さらに4名の指導者を追加で委嘱したところです。最も早いクラブについては10月21日から開始しております。

改めて本市の実証事業の取り組みについて説明します。

資料のようなお知らせを作成し、地域クラブ活動へ移行を行う部活動の保護者や生徒に案内いたしました。国が示す推進期間である令和5年度から令和7年度までの3年間、本実証事業に取り組む予定でございます。

本年度は県からの委託により実施しておりますので、指導者への謝礼、紹介、保険料など、必要な費用は市で負担しております。そのため、地域クラブ活動に伴う保護者の負担金がないように進めているところです。

この図は、地域クラブ活動への移行をイメージ化したものです。

改革推進期間においては、指導課やスポーツ振興課を中心として、関係団体の協力を得ながら、地域クラブ活動を実施しております。本年度は、普段からボランティアとして部活動に関わっている方を中心に、市が指導者として委嘱しております。

改革推進期間以降、休日の部活動が地域クラブ活動へと完全に移行された場合には、スポーツ振興課を中心とする新たな組織等を活用しながら、地域クラブ活動を進めていく予定になると思っております。

飯野指導主事
兼参事兼指導
課長

こちらの図は、部活動の地域移行・連携を表したものです。

部活動の指導者として、部活動指導員が地域の人材を任用して進めていくものとなります。複数の学校が合同で行う部活動についても検討が必要です。部活動の地域連携ということであり、こちらは部活動の学校管理下の活動となります。

指導者の確保については、市のホームページに指導者の募集のチラシを掲載いたしました。先程申し上げました通り、普段からボランティアとして、部活動に関わっている方を中心に地域クラブ活動をスタートさせたところではございますが、今後は指導者の確保が大きな課題となっておりますことから、広く募集をかけて指導者を増やしていく予定です。

実際の活動の状況です。先程も申し上げましたが、まずは9名の指導者が5校5クラブで実施を始めたところでございます。資料にはございませんが、10月に追加で委嘱した4名の指導者については、鷺宮中学校のサッカーに1名、栗橋西中学校のバスケットボールに3名となります。指導者は部活動指導員、少年団の監督やコーチ、元教員、大学生等でございます。

本年度は実証事業ということで、まずはできるところから実際に地域クラブ活動を進めていき、活動を通して成果や課題をまとめていく予定です。

まだ地域クラブ活動に参加する生徒を募集しているところではございますが、約100名の生徒が地域クラブ活動に参加すると、学校から報告を受けております。

今年度は、主に部活動の生徒がその地域クラブに並行して活動しているという状況が多く見られているところです。

最後に、「来年度以降に向けて」を説明いたします。

実証事業については来年度以降も取り組んでいく予定です。3年間の改革推進期間において、休日の部活動を段階的に地域に移行していきます。学校管理下にある部活動から地域が主体となって行う地域クラブ活動へと着実に移行できるように取組みを継続してまいります。

また、本年度は運動部についての実証事業ではございますが、来年度は文化部についても、実証事業に参加することを検討しているところです。

地域クラブ活動は、地域におけるスポーツ、文化芸術活動として、学校や教育委員会、担当課との連携を図り、様々な関係団体との協力を得ながら進めていく必要があります。

子どもたちが多様なスポーツ、文化芸術活動に親しめるように、部活動の地域移行、地域連携を進めてまいります。

今後の大まかなスケジュールをお示しいたします。国の方針も変わってまいりまして、令和10年度までに移行と期間が伸びているところがございます。

また、平日の移行についても検討が必要であると示されているところです。まだまだ難しいところではございますが、様々な関係機関と連携をしながら、地域移行について進めてまいりたいと思っております。

説明は以上でございます。

議長
(梅田市長)

ただ今、担当課から、「部活動の地域連携・移行」について説明がございました。

これらの内容について、意見交換をさせていただきたいと思っております。

議長 (梅田市長)	諸橋さんいかがですか。
諸橋教育長職務代理者	<p>今、実証事業中ということで、この6市の進捗状況を比べてみた際に、久喜市の中ではコーディネーターの配置が予定なしとなっています。</p> <p>指導者の確保も大事なのですが、指導者とのマッチングもすごく大事であると思っております、こうしたコーディネーターが核となり、これから動いていく可能性もあると思っております。</p> <p>久喜市でコーディネーターの配置予定なしというのは、どのように理解したらいいのでしょうか。</p>
飯野指導主事兼参事兼指導課長	<p>本年度、様々な取組みの中でコーディネーターを配置する方向で動いていたところですが、法の整備等で間に合わないこともありまして、今後検討の余地があるものとして、今できる形での取組みになります。そのため、来年度以降に検討していかなければならないと思っております。</p> <p>また、他市については、委託という形で取り組んでいる市が多いようです。そちらについても、検討の1つとなると考えております。</p>
諸橋教育長職務代理者	指導者の方も、どこと連携していけばいいのかというのもあると思うのですが、このコーディネートを今後スポーツ振興課に移行されるというわけですね。
飯野指導主事兼参事兼指導課長	スポーツコミッションにおける地域の人材バンクを活用していく形になると思っていますので、その点につきましても、今後検討してまいります。
議長 (梅田市長)	まだスポーツコミッションが立ち上がってないのですが、将来的には様々なスポーツを盛り上げる機能を、スポーツコミッションが全部担うことになるので、イメージ的にはスポーツコミッションが人材バンクを運用して、スポーツコミッションに相談していただければ、地域で活躍できるスポーツ人材を各部活動に紹介するといったスキームをイメージしていただければと思います。
諸橋教育長職務代理者	<p>社会教育事業のボランティアに私も携わっているのですが、指導者の確保というのは、私たちも、他の学校も大変な面もありますし、コーディネイト役になるような方がいないと厳しいと思います。</p> <p>核になる人物や団体を見つけてあげたほうがいいのかなと思います。</p>
議長 (梅田市長)	<p>他の市の事例なども十分に検証させていただき、これから進めていきたいと思っております。</p> <p>渋谷さんはいかがですか。</p>
渋谷委員	<p>実証事業についてお伺いします。部活動において平日は学校、休日は地域クラブ活動とのことで、指導者の情報共有が大事だと思うのですが、それがどういった手段で行われているのでしょうか。</p> <p>もう1点ですが、実証事業を行っている6市の状況を見ますと、業務委託をしているところがあります。久喜市は、公募型を前提としているところですが、今後の評価分析によって現在の公募型から業務委託に変</p>

渋谷委員

わる可能性もあるのでしょうか。

柿沼教育長

業務委託をすると、その請負ったスポーツ関係の民間事業者が指導者を派遣するのですが、その金額が高くなるので、どうしても回数が少なくなると思われます。

今は、国や県から一定金額頂いておりますので、それを活用して行っておりますが、将来的には保護者負担になります。

そのため、保護者からかなりの金額を集めて、そして民間に委託するということ、現実的にできるのかどうか、また年間にどれだけの回数をやっていただけるのかを考えますと、民間委託はどんなのかなと感じております。

もちろんプロを目指すような保護者の方は幾らでも出します、と思うのですが、現状の中学校の部活動では、スポーツに親しみたい、スポーツを通して色々な仲間づくりをしたい、という目的の子ども達が多いです。そう考えた時に、多くの子ども達が部活動に引き続き、継続して取り組んでいただくためには、やはりそれほどの負担を保護者に求められないと思います。

やはり民間委託ではなく、先程市長からお話があったように、スポーツコミッションで、これを請負っていただいて、そこで保護者から負担金をいただいて、指導者を派遣していただくというのが現実的であると考えております。

今年度は、教育委員会で直接指導者をお願いする形をとっており、どれぐらいの方が引き受けてくださるか、また、どれぐらいの回数ができるかという実証事業をしようということにしました。

どうしてもいくことが適切なのかというのはなかなか難しく、民間事業者にお願いすれば、それはそれで何回か実施してくださると思いますが、それが将来的に良いものかという疑問もあります。

渋谷委員

わかりました。もう1点の指導者の情報共有の関係をお願いします。

飯野指導主事
兼参事兼指導
課長

渋谷委員の仰る通り、平日と休日の情報共有というのは課題です。

本年度については、今部活動に携わって頂いている方が、指導者として、休日の地域クラブ活動にも携わっており、情報共有が図られているところです。今後、その点につきましても検討事項の1つであると思っております。

また、部活動イコール地域クラブというより、その学校の部活動がそのまま地域クラブとなっておりませんが、これをすべて賄うと相当な数の地域クラブ活動を立ち上げることが必要になってしまいます。そのため、核となる中学校に通い、部活動で少し一線を越えた中で、技術技能を身に付けるなど、活動に特化するような形も必要ではないかという話も実証事業をしている中で出ているところです。

渋谷委員

そうしますと平日だけの部活動に参加している生徒もいるという理解でよろしいのでしょうか。

飯野指導主事
兼参事兼指導
課長

はい。

議長 (梅田市長)	実際に学校の部活以外のクラブに入っている場合、例えば野球やサッカー、おそらく水泳等も部活がない場合に、通っていらっしゃると思うのですが、どれぐらいの人数なのでしょう。
柿沼教育長	昨年度の調査ですが、9.8%で340名が学校外のクラブチームに通っており年々増えております。
議長 (梅田市長)	その辺りの線引きが曖昧になってきそうですね。
柿沼教育長	クラブチームに通われている子の保護者は、お金をいくらでもかけると思います。
議長 (梅田市長)	山中さんは、いかがですか。
山中委員	整理したいのですが、そもそも何のために、部活動の地域連携・移行を始めようとしたのでしょうか。 もともと働き方改革として、教員の負担を減らすために始まったと思います。そこから学校の先生方が部活動の顧問まで携わると長時間労働になってしまうことから始まったのではないかと理解していたのですがどうなのでしょう。
飯野指導主事 兼参事兼指導 課長	きっかけとしては教員の働き方改革というのは、大きな中心となっています。休日に部活動の指導はしたくない、と答えている教員が昨年度も多くおりますし、これは年々増えていく傾向だろうと思っています。 もちろん部活動がとても好きで休日、兼職兼業してでも、地域クラブに参加したいという教員については、その方のライフステージとして捉え、認めていくような形になると思います。 まずは、部活動の指導が教員の業務の1つとして、当然のように捉えてしまっている形を変えるということが、この取組みの一番の核であると思っています。
山中委員	これから実証事業が進んでいくと思いますが、平日と休日の違いとして、部活の指導員として考えているのか、それとも休日だけは技術を上げるための研修会をやるというスタンスでいいのでしょうか。 土日開催はあくまでも、野球、サッカー等色々ありますけれども、チームとしてではなく、個々のスキルアップのためだけの練習会と捉えてよろしいのでしょうか。
飯野指導主事 兼参事兼指導 課長	正直どちらの方向に進めていくかという点につきましては、まだ検討事項であるといったところです。 例えば10月にサッカーで委嘱させていただいた方は、鷲宮西中学校にサッカー部が無いものですから、活動したくてもサッカーができないお子さんに対して、休日だけでもスポーツを楽しむことができる地域クラブの一環になればと思い新たに立ち上げをしているところです。 子どもにとって部活動は非常に重要で、生活の中の一部になっております。休日にも部活動でさらに同じチームの子と、一緒に試合に立てるように練習したいという想いの中で、休日を過ごしていらっしゃる子ども

飯野指導主事 達も多いです。
兼参事兼指導 ただそうなりますと、平日の部活動を担っている教員が、休日も必ず
課長 担わなくてはいけないという課題と向き合っており、どのような方法があるのかを探っている状況です。

柿沼教育長 今問題になっているのは、スポーツを親しみ、それを続けさせたいというのと、もう1つ、休日の地域クラブ活動が大会に出場できるというふうになるんです。
そうするとより選手を集めて、そういう地域クラブ活動もできないわけではないですし、一方で技術的な向上を目指す地域クラブ活動ができる可能性もあります。
そのためこれからどういう方向に持っていくかというのはとても難しいものです。

山中委員 その点も質問しようと思っていたのですが、現状、野球部でも8名の学校もあれば、サッカー部でも10名で人数が足りないというところで、近隣の学校と共同でチームを作り、正式に大会等に出られるという理解でよろしいですか。
合同チームでも、県大会や全国大会に、進むことは可能でしょうか。

柿沼教育長 はい、可能です。

議長 日頃の練習はどうなのですか。同じグラウンドでできるのですか。
(梅田市長)

飯野指導主事 栗橋の中学校の両2校では、野球部が合同で試合に出場したところで
兼参事兼指導 す。なかなか平日の合同練習は難しいところではありますが、休日では一
課長 緒に練習している状況です。

議長 試合の時だけ顔を合わせるのでは、チームプレーにならないですもの
(梅田市長) ね。

柿沼教育長 幸手では合同チームがなく、久喜の学校と合同チームのため、ほとんど練習がない状況です。

山中委員 ぜひ実証事業を進めていく中で、色々な視野から模索していただき、先生方の働き方改革の部分と、子ども達の部活のことの2本柱で、一番良いやり方が出てくるといいなと期待しておりますので、ぜひ頑張ってください。

柿沼教育長 1つだけ、スポーツ振興課長にお願いしたいことがございます。
ご案内のように中学校の部活動が、地域クラブ活動へ移行されると学校から切り離されるので、スポーツ振興課の所掌になると思います。
そうした際に実証事業は、経過の確認のため、現在は教育委員会で直接雇用してお願いしております。
しかし、このままですと長期的には難しいものです。先程話しておりましたスポーツコミッションが令和6年度に立ち上がるとのことで、このスポーツコミッションが、これを引き受けていただけるよう、ぜひ設

柿沼教育長	<p>立にあたってお願いしたいです。</p> <p>今、県からお金をいただいておりますけども、これがなくなった場合に保護者からの負担も必要になります。どういう方が人材バンクに揃うかわかりませんし、どれぐらいの単価でお引き受けいただけるのか、難しいところと思いますがよろしくお願いします。</p>
飯塚スポーツ振興課長	<p>現状、スポーツコミッションの中で、どういった組織にしていくか、どういった体制にしていくかという議論が、本格的に始まる時期が来月下旬に始まっていく予定です。</p> <p>現状で考えておりますのは当初は、任意団体的な立ち位置で立ち上げを予定しております。</p> <p>例えば保護者からお金を預かるという体制が、将来的に行うとなりますと、もう少し先になると考えております。少なくとも当初は、あくまでもコーディネーター的な部分になると考えているところです。</p> <p>例えば、総合型地域クラブ活動であれば、そういった仕組みができ上がっておりますので、そういった方を紹介することになります。</p> <p>将来的に教育長が仰るような形もあると思いますので、その辺も含めて総合的に検討していく必要があると考えております。</p>
議長 (梅田市長)	<p>最後に私からですが、母校の鷺宮小学校は、義務教育学校に移行となり、1年生から9年生になるわけですね。</p> <p>そうした場合には、仮に地域クラブに移行された場合、もともと児童生徒数が少ないので、小学生と中学生と一緒に地域クラブに参加するというのはできるのでしょうか。</p>
飯野指導主事兼参事兼指導課長	<p>先程、サッカーの話を触れましたが、もともと砂原小でサッカーをやっていた子達が、サッカー部がないために、サッカー以外に入らなければならない、それならばせめて地域クラブの中で支えられないかというところがスタートの趣旨でございました。</p> <p>小学生と中学生と一緒に活動できるのも良いのではという話も出ておりましたので検討してまいりたいと思います。</p>
議長 (梅田市長)	<p>小規模校に関しては、紅白戦もできないと、野球やサッカーもかなり厳しいですね。そうなると、小学生も交えて人数を揃えるというのも考えてもいいかもしれませんね。</p> <p>もう1点お聞きしたいのですが、自分がやりたい部活がないから、隣の学区の中学校に行くなどという生徒さんもいると思うのですが、現状どうなのでしょう。</p>
飯野指導主事兼参事兼指導課長	<p>学区外を申請している方も一定数いると思います。</p>
議長 (梅田市長)	<p>やはり部活動の再編というのも、取り組んでいかななくてはいけないですよ。あまり人気のない部活ですと、隣の中学校に集約するなど、持続可能な部活動のあり方を模索するターニングポイントだと思いますので、スポーツ振興課と十分に連携の上、進めていただければありがたいと思います。</p>

4 協議・調整事項（3）その他

議長
(梅田市長) それでは、続きまして、協議・調整事項の「（3）その他」でございます。

このテーマでどなたかいらっしゃいますか。

では、教育部長お願いします。

野原教育部長 昨年の久喜東中学校、また先日の久喜東小学校で、外壁の一部が剥落するという事故がございました。皆様におかれましては、ご心配とご迷惑をおかけしまして申し訳ございませんでした。一昨日、行われました定例教育委員会の会場が、久喜東小学校がとなっております。その際に、剥落の場所をご覧いただきましたが、昇降口に囲いを設置するなどの安全確保や、剥落した側の校庭につきましては、立ち入り禁止措置をしている場所もございます。また、校庭側につきましては、更なる安全確保としまして、来週の月曜日から足場を組み始め、モルタル仕上げを剥がす予定でございます。

また、その他の小中学校につきましては、今週の月曜日から教育部の職員で点検をしまいいりました。

各班に分かれて回ったところですが、今のところ久喜東小学校のように直ちに落ちると思われる箇所はないという報告を受けているところですが、壁に傷がある場所もございますので、コーンを設置し立ち入り禁止の措置をするなどの対応をしまいいりたいと思います。

またその後には、応急的な修繕を考えておりますので、この場をお借りしましてご報告させていただきます。

議長
(梅田市長) それでは、次回以降もテーマに基づいて意見交換を行いたいと考えておりますが、皆様からの提案などはありますか。

(「特になし」という声あり)

議長
(梅田市長) 事務局から提案はありますか。

小室係長 事務局からは、「生涯学習の充実について」をテーマとして提案させていただきます。

本市では、市民の皆様の多様なニーズに応える学習内容や学習の機会を提供するため、生涯学習活動の拠点としまして「まなびすポット」を、令和4年3月に開所しました。また、市民サービスの向上を図るため、令和5年度から教育委員会が管理しておりました8つの公民館をコミュニティセンターに移行しましたが、公民館がこれまで実施しておりました公民館事業につきましては、生涯学習課内の公民館事業推進室におきまして、引き続き、企画・実施しているところです。

人生100年時代が叫ばれる中、今後におきましても、市民の皆様が生涯にわたって自ら学び、自己の能力を高め、成果を生かすことができる環境づくりを進めていく必要がありますことから、生涯学習の充実につきまして、意見交換をいただきたいと存じます。

また、次回の会議が来年度の予定でございます。次回の会議におきまして、このほか協議・調整が必要な事項が出てきましたら、追加で上程

小室係長 させていただきます。

議長
(梅田市長) それでは、次回の会議では、「生涯学習の充実」について意見交換を頂きたいと思います。
その他全体として、皆様からご意見、ご質問等ございますでしょうか。

(「特になし」の声あり)

議長
(梅田市長) 事務局からは何かございますか。

小室係長 今後のスケジュールについてご案内させていただきます。
今年度につきましては、本日の会議が最後となります。
また来年度の予定でございますが、今年度と同様の2回の開催を予定しております。例年ですと第1回目を7月頃、第2回目を10月から11月頃で予定しております。
また時期が近くなりましたら、ご案内を申し上げたいと思いますので、その際にはご予定のほどをよろしくお願い申し上げます。
事務局からは以上でございます。

議長
(梅田市長) それでは、以上を持ちまして本日予定した協議調整が終了いたしました。
ご協力いただきましてありがとうございました。
これを持ちまして、議長の任を解かせていただきます。

5 閉会

折原参事兼企画政策課長 ありがとうございます。
次回につきましては、「生涯学習の充実」につきまして、協議・調整を頂きたいと思います。日程につきましては、時期が参りましたら、改めてご案内させていただきます。
それでは、以上を持ちまして、令和5年度第2回久喜市総合教育会議を終了させていただきます。ありがとうございました。

会議のてん末・概要に相違ないことを証明するためにここに署名する。

令和5年11月20日

久喜市長 _____ 梅田 修一 _____

久喜市教育長職務代理者 _____ 諸橋 美津子 _____